

Press Release

2026 年 5 月 26 日

すべての産業の新たな姿をつくる。



オーダーメイド型 AI 開発
「カスタム AI」

株式会社 Laboro.AI

— Laboro.AI、味の素(株)の「AI 献立プランナー」商用版の開発を支援
— AI を活用した「献立生成エンジン」で給食業界の人手不足を解消 —

株式会社 Laboro.AI

代表取締役 CEO 椎橋徹夫・代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将

「カスタム AI 開発」を展開する株式会社 Laboro.AI（東京都中央区、代表取締役 CEO 椎橋徹夫・代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将。以下、当社）は、味の素株式会社（東京都中央区、代表執行役社長 最高経営責任者 中村茂雄。以下、味の素(株)）が提供を開始した「AI 献立プランナー」商用版において、当社独自開発の「献立作成エンジン」を通じた開発支援を行ったことをお知らせいたします。



背景と今般の開発支援内容

昨今の給食業界では慢性的な人手不足が続いており、なかでも管理栄養士による手作業中心の献立作成業務は、その負担の大きさが深刻な課題となっています。

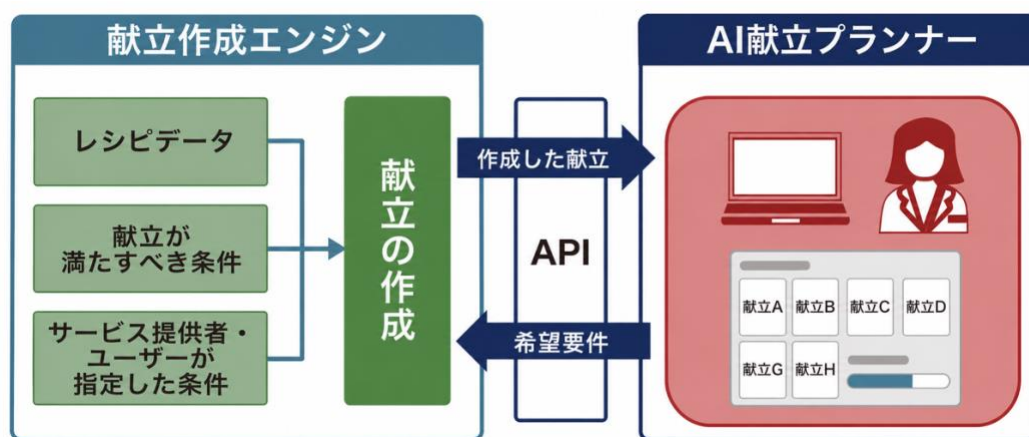
このような背景の下、味の素(株)ではデジタル技術の導入による業務の簡易化・効率化と負荷軽減を図るため、管理栄養士が設定した条件を満たす献立の自動生成機能を特長とする「AI 献立プランナー」の実証実験を進めてきました。同実験において、実際の給食現場で献立作成業務を担当する管理栄養士や栄養士と共に検証した

結果、献立作成業務において栄養素の平準化や原価の平準化および抑制や献立品質向上に向けた料理選定・修正など、現場施設での献立作成者の業務負荷軽減をサポートするメリットが確認されました※1。

「AI 献立プランナー」には、当社が 2024 年に開発・発表した「献立作成エンジン」※2 が実装されています。「献立作成エンジン」は、ユーザーが栄養素や好みの食材など様々な条件を指定すると、その条件を満たす献立を作成するものです。このたびの味の素(株)による「AI 献立プランナー」商用版の開発にあたって、当社は「献立作成エンジン」に他社レシピの登録を可能にするなどの一部改修を行い、給食事業会社がそれぞれの給食現場の実態に即して利用できる仕組みを構築しました。これにより、本エンジンは、従来の味の素(株)による一般消費者向け（BtoC）WEB サービスでの利用にとどまらず、複雑な現場運用が求められる給食事業会社などの法人向け（BtoB）サービスへの実装・展開がより円滑になりました。

※1 カイテクノロジー社が中心となり、給食事業会社 5 社が参加。[参加企業の 1 社 \(株\)アルスの HP より](#)

※2 2024 年 8 月 1 日発表「Laboro.AI、味の素(株)の WEB サービスのエンジンである「献立作成エンジン」を開発」
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000045.000027192.html>



献立作成エンジンを通じた開発支援のイメージ図

※ 詳細は味の素(株)のプレスリリースをご覧ください

2026 年 5 月 11 日発表「味の素(株)、(株)カイテクノロジーとの実証実験を経て「AI 献立プランナー」商用版の販売を開始」
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000267.000059753.html>

「AI 献立プランナー」商用版の特徴について

「AI 献立プランナー」は、給食現場ごとのルールに合致した献立を、1 日 1 食から 3 食、最大で数カ月分まで生成する「AI 献立自動生成機能」が最大の特長です。「AI 献立自動生成機能」は、直感的な GUI（操作画面）と「献立作成エンジン」のアルゴリズム技術が組み合わさることで、柔軟なカスタマイズ性と高い利便性を兼ね備えています。その結果、「AI 献立プランナー」は、給食管理や献立作成をサポートするサービスソフトウェアとしての汎用性を備えています。これにより、献立作成者はゼロから献立を作成する業務の負荷を軽減することができ、他の業務に取り組める環境と時間の創出が可能になります。

今後の展望

当社は、新規製品・サービスの創出や既存ビジネスのプロセスイノベーションなど、AI による新しいビジネス施策展開によってクライアント企業様の成長を図る領域を「バリューアップ型 AI テーマ」と定義し、本領域での AI 開発に注力しています。

今般の「AI 献立プランナー」商用版のエンジン開発は、これまで属人的かつ高負荷であった献立作成業務をデジタル化し、給食業界が抱える人手不足という深刻な社会課題の解決を直接的に支援するプロジェクトであり、当社が掲げる「バリューアップ型 AI テーマ」を体現する事例であると考えています。

今後も、味の素(株)との共創活動をより一層深め、AI 技術の産業実装を通じて、食領域のさらなるバリューアップの実現に向けて邁進してまいります。

参考情報

■味の素株式会社 会社概要

会 社 名：味の素株式会社

所 在 地：東京都中央区京橋一丁目 15 番 1 号

代 表 者：代表執行役社長 最高経営責任者 中村茂雄

設 立：1925 年 12 月 17 日

事業内容：調味料、栄養・加工食品、ソリューション＆イングリディエンツ、冷凍食品、医薬用・食品用アミノ酸、バイオフィーマサービス（CDMO）、ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）、更にその他の事業

U R L：<https://www.ajinomoto.co.jp/>

■株式会社 Laboro.AI 会社概要

会 社 名：株式会社 Laboro.AI（ラボロ エーアイ）

所 在 地：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 11-1

代 表 者：代表取締役 CEO 椎橋徹夫

代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将

設 立：2016 年 4 月 1 日

事業内容：機械学習を活用したオーダーメイド型 AI『カスタム AI』の開発
カスタム AI 導入のためのコンサルティング

U R L：<https://laboro.ai/>

株式会社 Laboro.AI は、「すべての産業の新たな姿をつくる。」「テクノロジーとビジネスを、つなぐ。」をミッションに掲げ、AI による新しいビジネス施策展開によって企業成長を図る「バリューアップ型 AI テーマ」に効くオーダーメイド型 AI 開発「カスタム AI」を展開する、国内有数の AI スペシャリスト集団です。

以 上

<本リリースに関するお問い合わせ>

株式会社 Laboro.AI マーケティング部 広報リーダー 東條英里 Mail：press@laboro.ai